



香川ハンドセラピー研究会 主催

第6回スプリントセミナー

『 関節拘縮 』

□会 期：平成30年11月18日（日）9:00～16:00（受付開始 8:30～）

□会 場：総合病院回生病院 新館5階 大会議室（〒762-0007 香川県坂出市室町3-5-28）

□研修内容：関節拘縮に対する基礎的知識の習得と代表的な3種類の動的スプリントの作製実習を通し、スプリント加工技術の向上を目指します。

□受講費：8,000円（※テキスト代とスプリント作製に必要な材料費を含んでおります）

□定 員：40名

□申し込み方法：メール件名に「第6回スプリントセミナー受講申し込み」と明記いただき、

①氏名、②所属施設、③所属住所、④連絡先アドレス、⑤職種（経験年数）、⑥ハンド経験年数を記載し、

必ず返信が可能な個人メールアドレスを用いて下記事務局までお申し込み下さい。

定員に達し次第締め切らせていただきますので、できるだけお早めにお申し込み下さい。

□お問い合わせ先：香川ハンドセラピー研究会事務局 E-mail：kagawa.handtherapy@gmail.com

□プログラム（※午前の部：講義形式、午後の部：各種スプリントの作製実習）

8:30～9:00	受付・開会
9:00～9:50	基礎知識 ：手の装具療法の運動生理と力学的原則 拘縮矯正における生理学的な諸問題、癒痕組織の伸張における原則や動的な装具を作製する際 の原則（力の方向や強さ）、実際の装具療法におけるトルク計算方法について解説する。
10:00～10:30	症例報告 ：事例から学ぶ 手の装具療法 ① ばね指による腱鞘切開術後に手指 PIP 関節屈曲拘縮が残存した一例 ② 手指挫減損傷後の PIP 関節屈曲拘縮の一例 ③ 橈骨遠位端骨折後に生じた手指 PIP 関節屈曲拘縮の一例
10:40～12:00 (40分×2)	作製実習① ：カペナスプリント コイルワイヤーの反発力を用いた動的装具であり、ラジオペンチで形状記憶鋼線（ピアノ線）を 加工して作製する。主に PIP 関節の屈曲拘縮に対して用いる指装具の一つ。
12:00～13:00	昼休憩
13:00～15:00 (60分×2)	作製実習② ：アウトリガースプリント 骨折や腱損傷後に生じやすい屈曲拘縮矯正における代表的な装具の一つ。ラバーバンドによる 牽引力を用いた動的装具であり、低トルク持続伸張により拘縮組織の愛護的伸張が特徴である。
15:00～16:00 (30分×2)	作製実習③ ：ジョイントジャック Static progressive orthosis の一つ。蝶ナットと鍋小ねじを用いて作製する矯正用装具。 患者本人が疼痛自制内において軟部組織の弾性限界での持続伸張訓練として用いる。
16:00	閉会

主催：香川ハンドセラピー研究会